



《 第56号 》 (2018年度)

(第31回記念館小企画展から)  
3代の藤樹像

シリーズ  
よえもん



「論語」陽貨第十七



書 渕田瑞穂さん

鶏を割くに  
焉んぞ  
牛刀を用ん



1代目藤樹像

最初の藤樹像は、製造技術が悪くて破損したり、先生の姿が聖人らしくないという意見が出たため、作りなおされました。

大洲で、藤樹先生ゆかりの所として誰でも訪れるのは、大洲城にある藤樹先生の銅像です。これは、1902年(明治35年)、大洲藤樹会が中心になり、先生の教えを長く伝えるためにつくったものです。



2代目藤樹像

2代目の藤樹像は、1925年(大正14年)に完成しましたが、太平洋戦争のため政府に渡され現在のお城にあるものは、その7年後の1952年(昭和27年)につくられた3代目藤樹像です。



3代目藤樹像

孔子がある町へ行ったとき、琴の演奏や歌声が聞こえてきました。それを聞いた孔子が、この町を治める弟子に、「国を治めるためには、礼や音楽が大事だと言ったが、このような小さな町を治めるのには大げさなことをしなくてよいのでは」という孔子の思いを伝えた言葉です。

小さなことのために、大がかりなことをする必要がない場合もあるという意味で使われています。



### \* 記念館だより \*

今年度も中江藤樹記念館では、藤樹先生の門人で人一倍努力して医者になり、多くの人のために尽くした「大野了佐」にならい、8月3日、4日、8日、9日、10日の5日間「了佐てらこや小学校」を開校します。みんなで「論語」の素読や毛筆習字、楽しいものづくりや科学体験、市内の歴史資料館の見学などをします。参加対象は市内の小学校3年生から6年生です。夏の楽しい思い出に加えてほしいと思います。多くの皆さんの参加をお待ちしています。案内は、後日学校を通して配布します。

近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

